

赤穂市 歴史文化基本構想



ごあいさつ

赤穂市は、瀬戸内海と清流千種川に育まれた自然豊かなまちです。市内各地には、様々な自然・歴史的な環境に由来した特色ある歴史文化遺産が現在も数多く残されており、このたび赤穂市歴史文化基本構想をまとめるにあたってその思いをより強くした次第です。

少子高齢化など社会的な問題が深刻となるなか、地域に残る歴史文化遺産を守り継承し、さらにまちづくりに活かすことが、地域の課題を解決するための一つの鍵となっています。本構想が赤穂市のまちづくりを推進するための基礎資料、基本構想となることを願ってやみません。

最後になりましたが、本構想の策定にあたり様々な教示・指導をいただきました文化庁、兵庫県をはじめ本基本構想策定委員、赤穂市文化財保護連絡員、さらにはアンケート調査に回答くださった多くの市民の方々に深く御礼申し上げます。

平成30年6月

赤穂市長 明石元秀

例言

1. 本構想は文化庁の「平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業(歴史文化基本構想策定支援事業)」及び「平成29年度文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援事業)」の国庫補助金を活用して策定したものであり、策定期間は平成28年7月1日から平成30年1月31日である。また本書は、文化庁の「平成30年度文化遺産総合活用推進事業(地域の文化財の総合的な保存活用に係る基本計画(仮称)等策定支援事業)」の国庫補助金を活用して刊行した。
2. 策定にあたっては、9名による歴史文化基本構想策定委員会を組織し、文化庁及び兵庫県の指導・助言を得て、赤穂市教育委員会生涯学習課文化財係が事務局となり実施した。
3. 策定にかかる基礎作業の一部は、株式会社都市景観設計に委託した。
4. 本書に掲載した資料において所蔵者名を明記したもの以外は、原則として赤穂市及び赤穂市教育委員会が所蔵しているものである。
5. 本構想に使用した写真は主に事務局が撮影したが、下記の資料所蔵者から提供を受けたものがあるほか、赤穂市市長公室企画広報課、赤穂市建設経済部産業観光課及び出水伯明(映像工房出水)が撮影したものを含んでいる。
6. 本構想の策定にあたり、所蔵資料の出版掲載等について下記の機関・個人のご協力を得た。記してお礼申し上げる。あこう絵マップコンクール実行委員会、赤穂市立歴史博物館、赤穂市立美術工芸館田淵記念館、有年原自治会、映像工房出水、花岳寺、株式会社日本海水、光浄寺、国立研究法人産業技術総合研究所地質調査総合センター、正福寺、誓教寺、たつの市立龍野歴史文化資料館、東京大学史料編纂所、如来寺、姫路市立城郭研究室、普門寺、山口県文書館、江端益子、奥藤利文、佐方直陽、田淵新太良、正木洋志、宮崎素一、安永俊規(敬称略)

赤穂市歴史文化基本構想 目次

第1章 赤穂市歴史文化基本構想策定にあたって

1. 歴史文化基本構想の背景 …… (3)
 2. 歴史文化基本構想の目的と位置付け …… (4)
 3. 歴史文化基本構想と上位計画・関連計画 …… (4)
 4. 策定体制と経緯 …… (7)
 - (1) 策定体制 …… 7
 - (2) 策定の経緯と経過 …… 8
- コラム 取揚島―播磨と備前の国境石 …… 12

第2章 赤穂市の概要

1. 自然・地理的環境 …… (15)
 - (1) 赤穂市の位置 …… 15
 - (2) 地形環境 …… 17
 - (3) 植 生 …… 20
 - (4) 千種川河口部の環境と希少な動植物 …… 22
 - (5) 気候・気象 …… 25
 2. 社会的環境 …… (26)
 - (1) 人 口 …… 26
 - (2) 産 業 …… 28
 - (3) 観 光 …… 29
 - (4) 土地利用 …… 32
 - (5) 関連法令 …… 34
- コラム 恐竜時代のカルデラにある町!? …… 21 生島樹林 …… 23
市街地景観重要建築物 …… 38

第3章 赤穂市の歴史と文化

1. 赤穂市の歴史的環境 …… (41)
 - (1) 千種川との共生 …… 41
 - (2) 生活のはじまり …… 42
 - (3) 古代の赤穂 …… 46
 - (4) 中世の赤穂 …… 47
 - (5) 近世の赤穂 …… 48
 - (6) 近代の赤穂 …… 49
 - (7) 現代の赤穂 …… 50
2. 赤穂市の歴史文化遺産 …… (53)
 - (1) 赤穂市の歴史文化遺産調査の黎明期 …… 53
 - (2) 赤穂市の歴史文化遺産調査の現状 …… 57
 - (3) 赤穂市の指定文化財等 …… 68

コラム 前方後円墳の発見 …… 45 赤穂鉄道 …… 49
西浜塩田関係資料の発見 …… 52 雲火焼の復活 …… 72

第4章 地域の歴史文化

1. 地域の歴史文化をどうとらえるか …… (75)
2. 地区の設定 …… (75)
3. 地域に根差した歴史文化の視点 …… (77)
 - 赤穂・城西地区 ……78 塩屋地区 ……95 西部地区 ……105
 - 尾崎地区 ……112 御崎地区 ……118 坂越（坂越湾周辺）地区 ……125
 - 坂越（千種川流域）地区 ……134 高雄地区 …… 140 有年地区 ……148
4. 地域を越えた歴史文化の視点 ……(165)

コラム 北前船の寄港地、坂越浦 …… 186

第5章 赤穂を代表する歴史文化

1. 赤穂を代表する歴史文化の設定 …… (189)
 - 赤穂を代表する歴史文化1 千種川と瀬戸内海 …… (190)
 - 赤穂を代表する歴史文化2 まちなみと風景 …… (198)
 - 赤穂を代表する歴史文化3 塩の国 …… (206)
 - 赤穂を代表する歴史文化4 赤穂事件と忠臣蔵文化 …… (214)
 - 赤穂を代表する歴史文化5 まつりといのり …… (222)
 - 赤穂を代表する歴史文化6 海の遺跡、山の遺跡 …… (230)

コラム 赤穂市の風景 …… 238

第6章 歴史文化を保護・活用するために

1. 赤穂市歴史文化基本構想の考え方 …… (241)
 - (1) 歴史文化を「楽しむ」ために ……241
 - (2) 歴史文化がまちづくりに果たす役割 ……241
 - (3) 歴史文化遺産を知り、活用することが歴史文化を守ること ……242
2. 歴史文化を守り伝えるための「あるべき姿」 …… (243)
3. 歴史文化遺産を守り伝えるためのしくみづくり …… (244)
 - (1) 歴史文化遺産に関する組織体制の充実 ……244
 - (2) 調査・研究 ……244
 - (3) 保存・保護 …… 245
 - (4) 普及・活用・発信 ……245
 - (5) 地域等の自主的な活動への支援 ……246
 - (6) 施設整備 ……247
 - (7) 防災 ……247
 - (8) まちづくりにおける他関連分野との連携 ……248
 - (9) 計画策定と見直し ……249

コラム あこが絵マップコンクール …… 249
子どもたちの歴史文化のイラスト …… 250

第7章 資料編

1. 赤穂の歴史文化一覧 …… (252)
2. 指定文化財データベース …… (253)
3. 刊行物一覧 …… (273)
 - (1) 市史編さん担当刊行物一覧 ……273
 - (2) 公益財団法人赤穂市文化とみどり財団刊行物一覧 ……277
 - (3) 『赤穂の民俗』論文一覧 ……280
4. 調査結果 …… (283)
 - (1) 地区の年中行事一覧 …… 283
 - (2) 社寺の年中行事一覧 …… 285
 - (3) 市内の主な社寺一覧 …… 290
 - (4) アンケート調査結果 …… 293

コラム 赤穂の自然災害 …… 292